

新型コロナウイルス感染症に対応した新たな学校づくり

旭川市立近文第一小学校

『感染症対策と子どもたちの健やかな学びの保障の両立』

学校の新しい生活様式

学びの保障

- 教科や特別活動等の重点化
 - ・教育課程の確実な実施
 - ・学校行事や日課表の工夫
- 長期休業中の授業日の設定
 - ・授業時数の確保
- ICT環境の整備及び活用
 - ・デジタル教科書，実物投影機大型テレビ
 - ・GIGAスクール構想の推進
- 感染症対策を徹底しながら，協働的な学び合いの実現
 - ・ICTを活用した学びの工夫
 - ・特別教室等の効果的な活用

心のケア

- 児童の心身の健康状況の把握
 - ・学級経営を基盤とした信頼関係づくり
 - ・積極的な声かけと傾聴
- 教育相談及びカウンセリングの実施
 - ・教育相談週間の設定
 - ・スクールカウンセラーの活用
- 不登校傾向の児童への支援
 - ・初期段階からの対応
 - ・保護者との連携
- 児童虐待への対応
 - ・早期発見と早期対応
 - ・関係機関との連携

感染防止対策

- 基本的な感染症対策
 - ・感染症への正しい理解
 - ・マスク着用と手洗いの習慣化
 - ・健康観察シートの実施
 - ・身体的距離の確保
- 3密を避ける学校生活
 - ・授業形態の工夫
 - ・学校生活のルールづくり
- 学校内の環境づくり
 - ・換気の徹底
 - ・共用箇所の消毒
 - ・施設設備の衛生面での改善

安定した学校運営の基盤整備

- ①人的体制の強化（「スクール・サポート・スタッフ」「学習指導員」の配置）
- ②学校感染症対策・学習保障費の効果的な運用（感染症対策等に係る経費，子どもたちの学習保障の取組の促進に係る経費）
- ③学校ICT環境の整備（1人1台の児童用端末の段階的導入）

国・道・市からの支援

児童の心と体を守り，学びを止めない

感染症対策を徹底しながら，
最大限の学びを保障

家庭

連携・協働

地域

連携・協働